



平成 19 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 サンウエーブ工業株式会社
 代表者名 取締役社長 織田 昌之助
 (コード番号 7993 東証第 1 部)
 問合せ先 執行役員財務部長
 熊澤 敏男
 (TEL. 03 - 3518 - 4317)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 7 月 4 日にお知らせしましたとおり、当社は、過去に販売した小形キッチンユニットに組み込んである“電気こんろ”に起因した火災事故が継続して発生していることから、キッチンユニットメーカー・電気こんろメーカー 13 社で設立した「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」との連携の下、改修促進のための各種施策の強化を実施し、極力早期での改修完了に向けて全力を挙げて取り組んでおります。

この無償改修促進強化策の実施に伴う費用負担の発生、および最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 15 日の決算発表時に公表しました平成 20 年 3 月期の中間業績予想を修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	51,100	340	260	160
今回修正予想(B)	48,400	△20	0	△1,120
増減額(B-A)	△2,700	△360	△260	△1,280
増減率(%)	△5.3	—	△100.0	—
前期(平成 19 年 3 月期中間)実績	47,420	426	248	△59

(個別)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	47,500	240	200	130
今回修正予想(B)	44,700	△160	0	△1,070
増減額(B-A)	△2,800	△400	△200	△1,200
増減率(%)	△5.9	—	△100.0	—
前期(平成 19 年 3 月期中間)実績	44,532	327	172	△101

2. 修正の理由

当中間期の見通しにつきましては、景気は底堅く推移すると予想されますが、住宅設備機器業界においては、持家を中心とした新設住宅着工戸数の伸び悩みなどから販売環境の悪化が顕著になってきております。

また、原材料価格の上昇に加え、外為市場における円安(ユーロ高)の進展が当初予想を超えて輸入資材の高騰を招いており、今後さらに利益を圧迫すると想定されます。

以上の収益環境の悪化に加え、「小形キッチンユニット用電気こんろ」の無償改修促進の強化策実施に伴う費用負担(※特別損失)の発生も踏まえ、平成 19 年 5 月 15 日に公表した中間期の業績予想を下方修正させていただきます。

なお、通期の連結および個別の業績予想につきましては、今後の事業環境や業績の推移を判断した上で、追って公表いたします。

※当社で実施する小形キッチンユニット用電気こんろの改修に要する費用は、総額で約 600 百万円と見込まれます。この費用は、所在が特定できていない改修対象製品の探索・発掘を行うためのマスコミ・媒体の掲載等の費用、改修促進のために新たに採用する要員の人件費、ならびに未改修製品の全ての改修直接経費(部品代、作業費等)を合算したものです。この費用は、特別クレーム補償引当金として本年度に引当計上し、特別損失として処理しております。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上